

2016北信越ドッジボール交流大会 in Niigata

(2017. 3. 20)

* * * 競技規則 * * *

1. 本競技規則は、表記大会の競技規則について定めます。
2. 本大会は、一般財団法人日本ドッジボール協会公式ルール、本大会要項、本競技規則、及び大会注意事項により行う。
3. 選手・監督・コーチ・マネージャー並びに大会役員・運営スタッフ・審判員は、競技フロアーに降りる際は、体育館シューズを履くこと。
(今大会は上記の者以外は、競技フロアーに入れません。)
4. 審判員は、応援席への出入りを禁止する。
5. チームのメンバー構成について
本大会に出場できるメンバー（選手・監督・コーチ・マネージャー）は、第26回春の全国小学生ドッジボール選手権県予選（県大会）にエントリーしたメンバーで構成する。
但し、3年生のみのメンバー構成は不可とする。
6. 試合の人数・メンバーについて
 - ① 試合は、大会エントリーメンバーの中から12名で試合を行う。
 - ② 但し、3年生のみでの試合は不可とする。
7. メンバー表について
 - ① 試合毎にメンバー表をアリーナ外の集合場所にて係員に提出し、記載事項と実メンバーのチェックを受けること。提出がない場合は当該チームを棄権とする。
 - ② チームの試合時に選手が付ける番号は、大会エントリーと同じ番号を付けること。
 - ③ メンバーが当該試合を欠場する場合は、メンバー表の欠場メンバーを赤線で抹消すること。欠場メンバーの選手番号は欠番とする。
 - ④ 監督・コーチ・マネージャーも当該試合に欠席の場合は、メンバー表の欠席役員を赤線で抹消すること。チーム役員の当日代理または補充は原則認めない。
ただし、前日までにJDBAの役員登録変更を完了した場合は認める。その場合、必ず登録内容の写しを大会当日、競技委員長に直接提出すること。提出なき場合は認めない。

8. 試合方法について

- ① 試合方法は、大会要項及び本競技規則により行うこととする。
- ② 1リーグ5チームの5グループによる試合を行い、各リーグの全チームがトーナメントに進出する。
- ③ 予選リーグは、ランニングタイム制の5分1セットマッチとする。
- ④ 決勝戦のみ、ランニングタイム制の5分3セットマッチとし、その他のトーナメント戦はランニングタイム制の5分1セットマッチとする。

9. 勝敗、順位について

(リーグ戦)

- ① 試合終了時に内野人数の多いチームを勝ちとする。
- ② 試合終了時に内野人数が同数の場合は引き分けとする。
- ③ 次の方法により各リーグ内の順位を決定する。
 - ア. 勝ち点制を採用し、勝ちを2点、引き分けを1点、負けを0点とし、その合計の多いチームをリーグの上位とする。
 - イ. 勝ち点と同じ場合は、各試合終了時の内野人数の合計が多いチームを上位とする。
 - ウ. それでも決定しない場合は、直接対決の勝者を上位とする。
 - エ. それでも決定しない場合は、対戦相手チームの内野人数の合計の少ないチームを上位とする。
 - オ. それでも決定しない場合は、ランニングタイム制の5分1セットマッチの試合(サドンデス有)の決定戦を行う。

(トーナメント戦)

- ① 試合終了時に内野人数の多いチームを勝ちとする。
- ② セット終了時に内野人数が同数の場合は、そのままの状態ジャンプボールをし、最初にアウトを取ったチームを勝ちとする。(サドンデスゲーム)
- ③ 3セットマッチの試合では2セット先取したチームを勝ちとする。

10. 試合球について

- ① 予選リーグでは、モルテン製D3C5000を使用する。
- ② 決勝トーナメントでは、ミカサ製MG-JDBを使用する。

11. ボールを使った練習について

- ① アリーナ(試合会場)で、別紙「練習会場・時間帯について」に基づき行うこと。
- ② その他の場所・時間でのボールを使った練習は厳禁とする。

12. 表彰について

1～4位を表彰する。

13. 試合時の服装について

- ① J D B Aのユニフォーム規定に基づいたユニフォームを着用すること。
- ② ユニフォームには規定に基づく大きさ・位置での1～20番までの番号が記されていること。
- ③ チーム役員が、選手と同じユニフォームを着用し番号を記す場合は、21番以降の番号とすること。

14. その他

- ① 全試合、ベンチ前整列により試合を開始する。
- ② チーム役員（監督・コーチ・マネージャー）及び控選手は、所定のチームベンチから出ないこと。
- ③ 監督は、試合終了後挨拶の後、記録用紙を確認し、サインをすること。

(本大会特別規則)

1. 応援席や試合ベンチでは、直接音の出る用具や叩いて音を発する用具など全てを禁止する。(うちわ、メガホン等)
2. 本大会では、応援席の応援団を含めて、チームマナーが不適切と思われる場合は、場合によっては、試合中でも試合を停止し、不戦敗とすることや以後の出場を停止する場合もある。

<チームマナーが不適切とは>

- チーム代表者・チーム登録役員（監督・コーチ・マネージャー）や選手及びチーム登録以外のチーム内指導者・応援保護者及びその他のチーム関係者が、
- ① 審判員や大会運営役員等に対して、または試合中の判定等について苦情・抗議・暴言・暴力行為を行うこと。
 - ② 自チーム及び他チームの選手やチーム役員に対して、苦言や苦情・抗議・暴言を発したり、体罰・暴力行為を行うこと。
 - ③ 上記の者が、試合場や会場施設及び設備等を損壊またはそれに準ずる行為を行うこと
 - ④ その他、大会運営を妨げる行為を行うこと